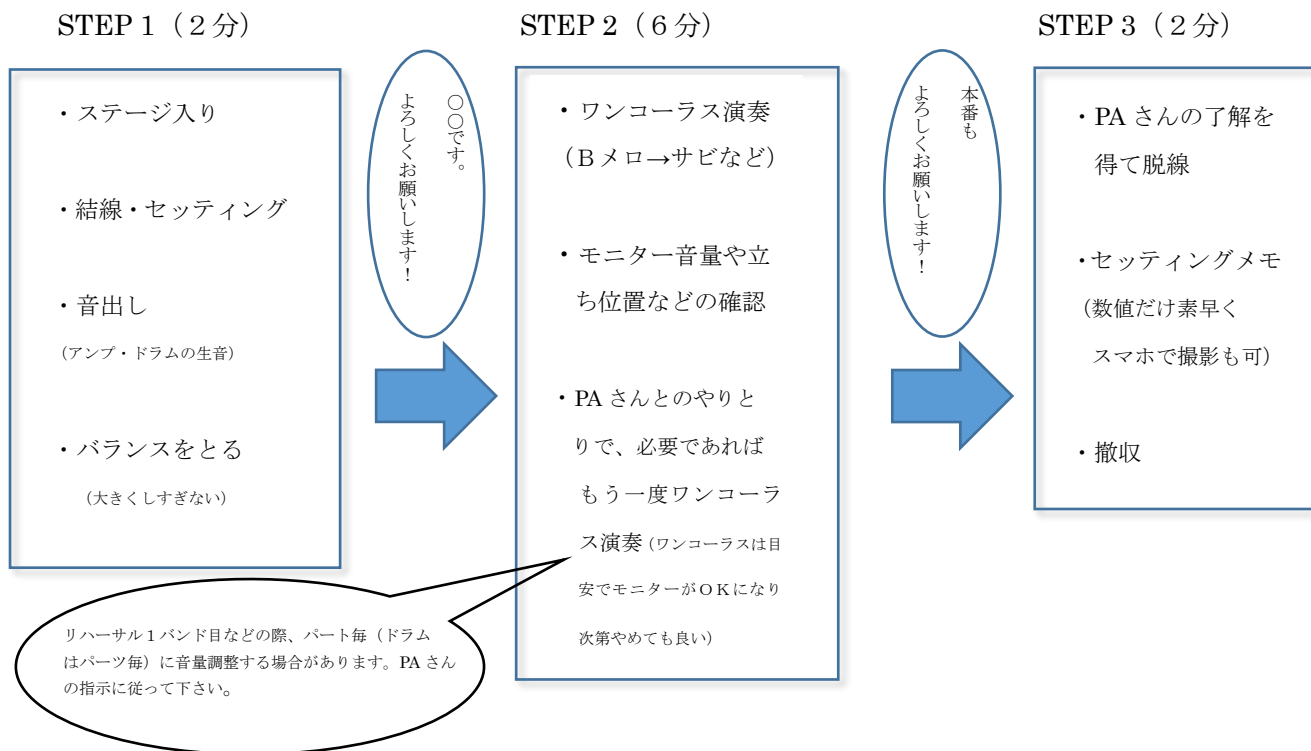


リハーサル的心得

道高文連 軽音楽専門部



(1) リハーサルとは

- ①PAスタッフの方が、バンドの音を理想の音量バランスで客席に届けるために、音をチェックする
- ②演奏者が演奏しやすい環境を整える

主に、この2つのために行います。特に重要なのが、①です。PAの方が初見の皆さんのバンドの楽曲音量やパートの数や音色を理解し、バランスをとる必要があります。バンドの練習時間ではなく、PAさんのための準備時間ということを強く意識してください。当然、始まりと終わりには「よろしくお願いします」としっかり挨拶しましょう。皆さんの音が良い状態で客席に届くためには音響の方の力が不可欠です。感謝の気持ちをもってステージに上がりましょう。

(2) ワンコーラス演奏

1曲を通す時間はありません。PAの方がバランスをとりやすいようにコーラスなども含めて全楽器が鳴る部分を選ぶこと。その上で、ダイナミクスがある（バンドの音量が大きくなったり小さくなったりする）部分があるとベストです。曲のどの部分を演奏するかは必ず事前に決めておくこと。手際よく演奏に入れるように準備しておきましょう。

(3) モニター

ボーカルやキーボードなど、中音のないパートを中心にPAの方にモニターに音を返してもらいます。返しの音量が大きいとハウリングを起こすので、あまり大きい音量は期待できないと考えてください。中音（ステージ上のアンプ等の音量）を上げすぎないのがコツです。時間も限られているので、複雑な要望も受けかねます。注意してください。

(4) セッティングの記録

手際よくメモできる準備をしておき、本番の際には頭に入れて素早くセッティングできるようにしておきましょう。スマートフォン等でアンプのつまみ等の写真を撮るのが速くて良いと思います。

(5) 最後に… **時間が短いので皆さん協力しましょう！**

時間厳守や本番のためにもしっかりと「リハーサルの練習」をしておくことを強く勧めます。